

# 進路通信

伊丹市立松崎中学校 第三学年

第7号

令和5年9月28日(木)



## 体育大会の学びを紡ごう

三年生にとって、最初で最後の体育大会が終わりました。本番までの間、学年体育や放課後練習を通して、準備してきた成果を十分に発揮できましたか？

先生は、行事に燃えるタイプです。なぜ行事に燃えるのか。それは、クラス、学年で行事に取り組む力が勉強や今後につながっていくからです。

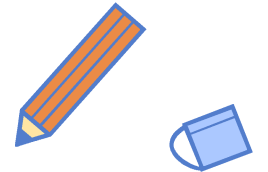
今回の体育大会を通して、みんなは多くの学びを得ることができたと思います。初めの頃の学年体育の様子と最後の学年体育の様子は全然違っていました。また、最後の演技は、ダンスの演技以上に気迫を感じる演技になっていました。その一生懸命な姿、楽しむ姿を見て、後輩たちは自然と大きな声で演技を応援し、盛り上げていました。

放課後に取り組んだ長縄練習。初めは、上手くいかずクラスで試行錯誤しながら、徐々に回数を増やしていきました。体育大会当日は、初日より多く跳ぶことができました。

このことを勉強に置き換えて考えてみましょう。共通することは、みんなと同じ方向を向くことです。いい演技をしたい、たくさん跳びたいと思ったから、みんなが協力をしてきました。また、自分たちの課題をクリアするためにどうすればいいか考え、工夫を凝らしてきました。勉強に置き換えると、もっと学力を身につけたい、成績を伸ばしたい、志望校に合格したいとみんなが思えば、自然と授業の受け

方や休み時間の過ごし方、家庭学習の仕方を見直して、改善しないといけません。学年演技も長縄も初めは上手くいかなかったはずですが、それをくり返し取り組んだ結果、できなかったことができるようになったり、できていたことをさらに上達させることができました。

この行事で得た経験を勉強へ転換させれば、ものすごく大きな力になります。そして、その勉強へ向けて頑張る姿は、きっと周りの人が応援したいと思うようなものになり、それがみんなの力になります。これまでの先輩もそういう先輩がたくさんいました。だから、行事から学び、得るものは、とても大きいのです。この学びをぜひ今後へ紡いでいってください。



## 運命の…。

明日は、大事な実力テストです。先生達は、実力テストの結果を公立の学力検査に見立てて、今後の進路指導について考えていきます。だから、実力テストは入試本番だと思って受験してください。私学の先生と話をしていると、こんな話を聞きました。「テスト中の受け方もチェックしています。成績が良くても、試験にちゃんと向き合えない人は、合否の対象外です。」と話されていました。また、公立高校の先生も「受検中の様子はチェックしています。試験にどんな姿で向き合っているかを見ています。」と話されていました。ということは、本番を想定した試験中に寝ることはあってはいけません。また、カンニングを疑われるような姿勢で受験することがないようにしてください。明日の実力テスト、最後まであきらめずに問題と向き合い、いい結果につなげましょう。

※明日は日頃の定期考査のように教科担任の先生は巡回しません。

質問ができないので、問題文をよく読んで解くようにしましょう。